

# 尚徳寮

令和8年 5月7日

鳥取大学附属中学校

NO. 1

## 令和8年度入学式

新入生 136 名を迎え、全校生徒数 405 名で鳥取大学附属中学校の令和 8 年度がスタートしました。保護者の皆様には様々なご支援を賜ることになりますがお理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

### 入学式式辞 霜村典宏 校長（一部抜粋）

136 名の新入生の皆さん、ご入学、誠におめでとうございます。我々教職員一同、また、在校生の全員が一年生の入学を心待ちにしていました。皆さんもこれから、この鳥取大学附属中学校で新たな一歩を踏み出します。

さて、これから附属中学校で学ぶにあたっていくつか新入生にお願いしたいことがあります。その 1 つ目ですが、「初心を忘れないで下さい」ということです。本日入学した 136 名の一年生は、附属中学校への進学を希望し、入学試験を受け、合格して本日この日を迎えています。すなわち、「附属中学校で学びたい」という強い意志を持って、附属中学校に入学しています。その初心です。本附属中学校では、遠方から生徒が通学しています。東は兵庫県の新温泉町そして西は赤碕に至るまで、本学で学びたいと希望を抱いて、遠方から集まっています。我々教職員一同は、そのような生徒の希望に応える指導と応援をしています。従って、この度入学した 136 名の新一年生が抱いている「附属中学校で学びたい」という初心を大切に指導と応援をいたしますので、初心を持ち続けて、3年間元気に通学してください。そして、多くの友人を作り、共に学びながら、入学時に抱いていた希望を実現してください。次をお願いしたいことの 2 つ目として、「環境の変化を一つの重要なタイミングとして、夢を膨らませて頂きたい」ということです。環境の変化とは、もちろん小学校から中学校へ変わった変化、新しい学年やクラスになった変化、そして新しい仲間と触れ合うことなどです。

実は、生き物は環境の変化に対応して変化します。身近な物として、桜の花を例とします。サクラは厳しい冬の寒さを経験し、暖かい春になった環境の変化に対応して、花咲きます。環境の変化が少ない地域、例えば東南アジアにもサクラはありますが、環境の変化が少なく日本桜のように満開にはなりません。また、秋の果物は、夏から秋への気温の低下に対応して実ります。このように環境の変化は生き物に重要な変化をもたらします。そして環境の変化に対応するのは決して植物だけではありません。我々、人間も環境の変化に対応して、変化成長します。是非ともこのような環境の変化を一つの重要なタイミングとして、夢を膨らませて花咲かせて変化・成長していただきたいと願っています。

最後をお願いしたいことがもう一つあります。それは、皆さんは「この中学校における3年間で大きく成長する可能性が大きい」ということです。例えば、小学校では算数が苦手であり成績が振るわなかったが、中学校である問題を解けたことをきっかけに、数学が面白くなり毎回 100 点をとれるようになるとか。あるいは、し



んどくて嫌いだった長距離走が、ある日突然速く走れるようになり、県大会で優勝するようになる。というようなことが必ず起こります。これを「覚醒」と言います。では、その覚醒のきっかけは何かというと、それは勉強や課外活動に対して「関心を持つ」ということだと思えます。また、「夢中になることに会うこと」であると思えます。

さて、その「関心を持つ」ことの重要性を指摘したエピソードをここで紹介します。それは、ヘレン・ケラーというアメリカの障害者教育に尽力され、輝かしい生涯を送られた活動家のエピソードです。ヘレン・ケラーは子供の時の病気で、視覚と聴覚を失っていますが、そのハンデを克服されて活躍された人です。そのヘレン・ケラーがある時、友人と一緒に森を一時間近く散歩して一緒に時間を過ごしたことがあるそうです。その散歩を終えてから友人に「何が見えたのか」と尋ねたそうです。そうすると、「いや何もなかった」という答えが返ったそうです。そこで、ヘレン・ケラーは「1時間も森を散歩してきて、興味深いものを何も見なかったなんて、ありうるのでしょうか？」と不思議に思ったそうです。実は、目の見えない自分でも、何百もの植物の葉の優雅な形状、白樺の樹皮の滑らかさ、マツの樹皮のゴツゴツさなどを見つけることができたそうです。

このエピソードでわかるのは、目が見えないヘレン・ケラーは目が見えないがゆえに、森の中の生き物の形状に大きな関心を抱いて知ろうとしていたが、目が見える友人はいつも見ているありきたちの生き物には関心がなかったと考えられます。即ち、関心があるのとないのでは、得られる知見や情報に差が生じるということです。

では、関心を抱くには具体的に何をどうすればいいのか？ということですが、それには色々方法があります。よく知られているのが、「ものの名前を知ること」で理解が進み、関心が深まるといわれています。しかし、中学生にとって最も重要なのは、一方的な情報ではなく、相互に情報交換することです。担任の先生、部活動の顧問の先生、または、友達に「質問や相談すること」だと思えます。附属中学校の先生方や先輩は、生徒の関心を刺激する様々な引き出しを持っています。悩んでいること、わからないこと、あるいは、やりたいこと、なんでも質問や相談をしてみてください。きっと君たちの関心を刺激して、夢中にさせて、君たちの成長をサポートして頂けます。我々、教職員一同はこの度入学した136名の新入生が、これからの3年間で、先生や友人、また保護者との交流や相談、さらには体験を積み重ねることで、いろんなことに関心を抱き、夢中になり覚醒し、成長することを期待しています。これが我々教職員の強い願いであります。

さて、ご参列の保護者の皆様、本日は誠にありがとうございます。私たち教職員は本校の校訓であります「文武併進、切磋琢磨」を常に念頭に置き、生徒の成長のために職員一同全力で教育する所存でございます。しかしながら、生徒の意欲や関心ごとを引き出す、伸ばす教育をするためには、教職員の力のみでは不十分であるのが現状でございます。保護者の皆様との連携したサポートがとても大切であると考えております。保護者の皆様にはその旨ご理解を賜り、ご協力を頂くことをお願い申し上げたいと存じます。

最後になりましたが、これまで学校全体を支えていただいた教育懇話会、同窓会、附属会、さらには、後援会の皆様には厚く御礼を申し上げるとともに、今まで以上のご支援をお願い申し上げ、私の式辞といたします。

令和8年4月9日 鳥取大学附属中学校 校長 霜村典宏



畑学校部長より祝辞をいただきました。

1年団の紹介です。どうぞよろしくお願いします。



## 教職員紹介

職名・担当	氏名	担当教科・部活動	職名・担当	氏名	担当教科など
校長	霜村 典宏		3年学年主任	澤本 恭	社会 サッカー
副校長	松岡 利至		3年学年担当	林 真希	英語 剣道
教頭	上川 寛子	国語 科学	3年A組	山坂 明	保健体育 陸上（駅伝）
主幹教諭	永原 益穂	数学 野球	3年B組	角谷 征紀	理科 科学
教務主任	新岡 真弓	英語 茶道	3年C組	田淵 靖子	国語 ソフトテニス
1年学年主任	岡 真奈美	社会 新体操	3年D組	伊井野雄大	数学 バスケットボール
1年学年担任	浦林 健也	理科 サッカー	養護教諭	岸田 佳子	
1年A組	岡 孝治	数学 バスケットボール	事務	山本 由美	
1年B組	岸本佳代子	技・家 卓球	図書館司書	福島真由美	
1年C組	宮田 愛伸	国語 卓球	スクールカウンセラー	筒井明日香	
1年D組	岩井 仁美	保健体育 陸上（駅伝）	スクールカウンセラー	堀内 佑樹	
2年学年主任	福政 純子	英語 剣道	非常勤講師	マイケル・ジョン・ムラー	英語
2年学年担任	西村 公秀	技・家 ソフトテニス	非常勤講師	音田 晃江	書写
2年A組	田中 利樹	社会 野球	非常勤講師	佐々木恭子	箏
2年B組	横地 美奈	音楽 吹奏楽			
2年C組	谷野 和美	美術 新体操			
2年D組	前田 大輔	理科 吹奏楽			

## 教育懇話会執行委員の皆さんを紹介します。

1年間よろしくお願いいたします。

役職(専門部)	氏名 (敬称略)
会長	山中 達郎
副会長	細田 隆博
副会長	前田 望
監査	柴原 史則
監査	藤田 和俊
幹事	山根 弘敬
会計	山根 裕史
生活部長	山本 未央
文化部長	徳吉 早苗
研修部長	田中 由香

## 6月1日は開学記念日

6月1日は、鳥取大学開学記念日です。全学で開学の意義を考える日としています。

附属中学校は、かつては「尚徳の地」として親しまれた鳥取県庁前にありましたが、昭和60年に湖山の地に移転されました。「尚徳」とは、鳥取大学の前身である鳥取藩の藩校であった「尚徳館」の名前に由来するものです。藩校「尚徳館」は、「徳を尊び、人としての生き方を学ぶ場」であったと言われています。

「文武併進」と「尚徳の精神」は、江戸時代から受け継がれてきた精神です。「人として知力・体力・徳性を磨いていくこと」「人としていかに生きるか」これは、私たち一人一人が問い続けるべきことでもあるのです。

ご確認ください。

1. 気象警報が発令された場合の措置について

①警報の地域・種類は以下の通りです。

- 警報の地域 鳥取市北部（鳥取地区）
- 警報の種類 「大雨」「大雪」「暴風」「暴風雪」

②6:00 に上記の警報が発令されている場合、生徒は臨時休業とします。

\* マチコミでの連絡、および電話対応は行いません。

③通学途中に上記の警報が発令された場合、マチコミで警報発令の連絡をしますが、生徒は自分の安全を第一に考慮して、帰宅もしくは登校の判断をします。安全性を考えた上で、あるいは警報発令を知らずに登校した生徒は、学校長の指示に従って安全な方法で帰宅します。

④鳥取市北部(鳥取地区)には警報が発令されていないが、鳥取市北部(鳥取地区)以外の地域に警報が発令されている場合、その地域に居住している生徒は臨時休業とします。

⑤学校にいるときに警報が発令された場合は、学校長が指示します。

※警報発令により登校できなかった場合は、欠席扱いにはなりません。

※給食の食材によっては返品できないものもあるため、臨時休業になっても給食費の一部を負担していただくこととなりますが、ご了承ください。

※通学範囲が広範囲にわたるため、お住まいの地域の気象状況により、安全を第一に考慮した判断をお願いします。

2. 公共交通機関運休時の措置について

次のような場合は、個別の生徒に対して「欠席」とせず、「出席扱い」とします。

① 鳥取市北部、または生徒の居住地域に警報発令はないが、その生徒が利用できる学校までの公共交通機関（JR・バス）がすべて運休しており、登校手段がない場合。

② 県中部、兵庫県北部に居住地域がある生徒で、その生徒が利用できる学校までの JR 路線が運休しており、登校手段がない場合。（バス路線がないため）

公共交通機関等の運休に伴う措置は上記のとおりです。ただし、その後の気象状況により、従来の学校生活を行うことが難しいと判断した場合は、例外として「臨時休業」の措置を取ることがあります。その際は、マチコミで連絡を流します。

なお、公共交通機関を利用せず、やむを得ず自家用車による送迎を行う場合は、保護者の判断でおこなってください。その際、上記①②の生徒の遅刻については、出席扱いとします。



<学校への連絡・情報提供> 電話：0857-31-5175 FAX：0857-31-5176

● Google フォームでの欠席連絡が難しい場合は、従来通り電話連絡も受け付けます。その際の受付時間は、平日午前7時40分以降でお願いします。